

ショールームで買取相談 断捨離でリノベと引越を手軽に



ショールーム内で相談を行う鈴木一功社長（左）

注文住宅の建設や戸建て・集合住宅のリノベーション（以下リノベ）事業を行う建設業のクリエすずき建設（千葉県柏市）は8月より、モデルルーム「クリエルーム」内で不用品回収や買取りの

相談などを開始する。

「クリエルーム」は8月1日に柏市内に設置予定で高齢世帯を中心に、ワンルームマンションにおける車椅子での生活や宿泊体験などを予約制で行う。

モデルルーム内でのサービスとして、

「お金」「モノ」

「人」の相談を行う。

リノベや引っ越しを行う際の不用品回収、買取か

ら、保管、収納相談、遺品整理、片

付けをFPや整理収納アドバイザー、終活カウンセ

ラーの資格を保有する同社の社員が

行う。「特に内装をリノベする場合、処分の話題はほぼ必ずある」（鈴木一功社長）

契機は19年に千葉を襲った台風15号。防災の観点から不用品処分などの相談を月2〜3件受けるようになった。新たに設置するモデルルーム内でサービス化することで、顧客との接点の拡充を図る。提携するリユース企業はゲンキの平和堂（千葉県柏市）など。

リノベの後押しも狙う。これまで、改築や住替え時に必要となる「部屋の片付け」が高齢者層にとって心理的負担となる場合があっ

た。事業者連携によってお客の心理面・金銭面での負担を軽減する。

「一般的に建設事業者は新築などの大型案件獲得を目指しますが、大型案件の相見積もりで負けてしまった場合、その後依頼は来ません。小さな案件を複数行うことで、将来に向けて相見積もりが要らないほどの信頼を築く方針です」（同氏）

同社は1000名強の既存顧客を中心に、大小合わせて月間15件ほどの問い合わせを受けている。今後はLINEによる顧客対応や集客を強化する。